

contents

01 【特別企画】 吉野 彰氏に県民栄誉賞を贈呈

03 【世界クラスの美しい“ふじのくに”】 三島スカイウォーク

05 【知事対談】 日本とは何か？ 重要な糸口を 俳諧から学ぶ ～無常という循環が指し示す 永続的創造～ 国際日本文化研究センター名誉教授 山折 哲雄氏

09 【スポーツの聖地づくり】 ラグビーの聖地化こそが ワールドカップの大いなる遺産！

11 【県政特集】 農業先進県の未来を耕す 農福連携の推進

13 【ふじのくにブランド】 ふくほまれ(新ブランド米)

14 【Living My Dream Life in ふじのくに】 谷本 結利さん

「また来たい」という気持ちで 喚起できるように努めています。何度来ても楽しんでいただけるよう、今後も進化を続けたいと思います。最近はありません。修学旅行のニーズも増えているんですよ。」と語る。 日本一高い富士山、日本一深い駿河湾、そして日本一長い吊り橋。3つの日本一を同時に堪能することができる三島スカイウォークは、今や県東部エリアの観光拠点になりつつある。三嶋大社、楽寿園、源兵衛川などへ向かうガイドスポットとして、あるいは伊豆半島への入り口として、三島スカイウォークは連日多くの観光客でにぎわう。それは地域貢献という名の未来への架け橋だ。

箱根路は古くから深い木立に囲まれ、富士山の眺望スポットは意外に少ない。それゆえにこの圧倒的な開放感は完全に意表を突かれる。同橋は瞬間に話題になり、開業から1年間で来場者が160万人を超えた。現在も全国から毎年100万人以上の観光客が訪れ、外国人の姿も多い。同橋の管理運営会社で営業職を務める今枝智穂さんは「私たちは当初からアクティビティ、体験教室、付帯施設などに随時改良を加え、

東海道の難所として知られた箱根路。今なお当時の石畳が残る旧東海道のすぐ脇に架かる三島スカイウォークは、長さ400メートル、高さ70メートル、主塔の高さ44メートルを誇る、日本最長の人が歩ける吊り橋だ。 吊り橋が完成したのは2015年。三島市内の民間企業が地域貢献の一環として建設した。橋上からぐるりと一望できる富士山、駿河湾、箱根西麓のパノラマは壮大で美しく、思わず息を飲む。



圧倒的な開放感！ 地域貢献という名の未来への架け橋

三島スカイウォーク | 三島市 |

箱根西麓から富士山をのぞむ。ここから南方向へ視線を転じると駿河湾、三島・沼津市の街並み、伊豆半島などが見渡せる。

世界クラスの美しい“ふじのくに”



このトイレは必見。日本一を目指したという空間づくりは清潔感や創造性に富み、まるでギャラリーのよう。



県東部の魅力を語る管理運営会社の今枝智穂さん。その語り口は地元愛に満ちている。「私自身もこのエリアが大好きなんです」。

フワフワと歩く感覚は、まさにスカイウォーク。このすぐ脇を駆け抜ける「ロングジップスライド」は人気アクティビティ。



三島スカイウォーク

静岡県三島市笹原新田313
JR三島駅からタクシーで約20分、バスで約20分。
東名高速道路・沼津ICより約15分。

【お問い合わせ先】
三島スカイウォーク 055-972-0084
営業時間/9:00~17:00 年中無休

